

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
	社会教育演習 B Seminar on Social Education B	大村 隆史	専門	1	選択	3年 後期

科目の概要

前期の授業を踏まえつつ、社会教育の施設や活動のうち、自身の興味があるものについて一つ取り上げ調査を行い、発表する。社会教育の現場において、どのような活動が行われ、職員はどのような役割を果たしているのかなどを実際に体験し、レジュメおよびレポートにまとめ、授業内でプレゼンテーションを行う。自身の目でみた社会教育を自身の言葉でまとめ、発表することで、身近にある社会教育の在り方や課題についての考察を行う。

学修内容	到達目標
① 社会教育の理念や歴史、法制度、行政、施設について学ぶ。 ② 社会教育分野の歴史的な文献や最新の論文を読み、自身でまとめ、報告する。研究報告の基礎を学ぶ。 ③ フィールドワークの方法について学び、調査を行う。また、調査結果をまとめ、報告を行う。 ④ 調査結果を踏まえつつ、自身で社会教育計画を計画・立案する。 ⑤ 自身のフィールドワークなどを踏まえ、現在の社会教育が直面する課題について検討する。	① これまで学んだ社会教育の基礎部分を振り返りながら、再度社会教育の基本的な理念、実践を理解する。 ② 社会教育関連の書籍や論文を読み、要旨をレジュメにまとめ、授業で発表し、討論できる。 ③ 自身の選んだフィールドで調査を実施し、調査結果を分析・考察し、レジュメおよびレポートにまとめる。また自身の調査について、授業内でプレゼンテーションを行うことができる。 ④ 現地調査からの知見をいかしつつ、自身の社会教育を計画・立案できる。 ⑤ 自身のフィールドワークを踏まえ、現在の社会教育における課題や展望を考察できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	さまざまな資料にあたり、自身で課題を発見し、考察を行う。
	働きかけ力	
	実行力	調査対象機関や施設を選出し、自身で調査計画を立て、調査(フィールドワーク)を実施する。
考え抜く力	課題発見力	社会教育の実態を把握し、そこでの成果と課題を掘り起こす。
	計画力	
	創造力	フィールドワークや授業でのディスカッション、プレゼンテーションを踏まえ、自ら社会教育計画を立案する。
チームで働く力	発信力	社会教育の施設や関連の文献を調べ、グループディスカッションで出た意見などを踏まえ、その内容をレジュメおよびレポートにまとめ、プレゼンテーションを行う。
	傾聴力	他者の発表を聞きつつ、考察を行い、課題を発見し、ディスカッションを行う。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	指示された内容に則ってフィールドワークを実施し、レジュメやレポートにまとめ、プレゼンテーションを行う。また、フィールドワークを実施する際は、倫理的配慮のもと実施する。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

【テキスト】特に指定はせず、授業中に資料を配付する。講読の文献は授業中に指示する。

【参考文献】授業中に紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：社会教育主事資格（特に、社会教育演習 A）の科目を履修しておくことが望ましい。

資格との関連：社会教育主事（任用資格）

学修上の助言	受講生とのルール
日頃からさまざまな社会の動きに興味を持ち、情報を調べる。周囲の人々と現代社会が抱えるさまざまな課題についてディスカッションする機会を大切にしてほしい。また、ぜひ地域の社会教育施設に対し、関心を持ってほしい。	集中講義であるため、原則として授業にはすべて出席すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	50	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	テーマ設定がしっかりとなされているか。 自身のフィールドワークについてわかりやすく書かれているか。 フィールドワークを通して発見した課題が指摘されているか。 発見した課題を踏まえ、社会教育計画が立案できているか。 結論のなかで、現在の社会教育が抱える課題と今後の展望が明示されているか。
成果発表 (口頭・実技)	40	① ② ✓ ③ ✓ ④ ⑤ ✓	プレゼンテーションを行うにあたって、自分で工夫してプレゼンを行っているか。 聴衆にわかりやすく資料を作成し、報告がなされているか。 テーマや結論が明確に伝わっているか。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) ・授業時のディスカッションに積極的に参加している。 (実行力) ・自身の計画に基づいて、フィールドワークを行うことができる。 (課題発見力) ・授業でのディスカッションやフィールドワークにおいて、自身の考える課題を見出し、それを明示することができる。 (創造力) ・自身のフィールドを決め、しっかりとフィールドワークを行っている。 (発信力) ・自身の考えや疑問点などをはっきりと示している。 (傾聴力) ・他の履修生の報告を聞き、質疑や討論に参加している。 (規律性) ・遅刻、無断欠席、学修意欲の欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・フィールドワークを行う際に、調査先に迷惑をかけず、倫理規定を守ることができる。
その他			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>A 評価の基準は、①社会教育の基礎や実践を理解したうえで、自身の考える社会教育の課題、在り方を明確化し、自身でテーマ設定し、社会教育施設などでフィールドワークを行っている、②フィールドワークの結果をわかりやすくレジュメにまとめ、自身で工夫しながらプレゼンテーションを行うことができている、③また、フィールドワークを通し発見した課題を踏まえ、社会教育計画を立案している、④まとめとして、すべての履修生の報告やその後の討論を振り返りつつ、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表している、の4点を満たしているかである。</p> <p>S 評価の基準は、A 評価の基準に加え、自身の身近な課題に引き付けて考えることができおり、実践に応用できるようなアイデア、企画を考察できているかどうかという観点から評価を行う。</p>	<p>社会教育の基礎や実践を理解したうえで、自身でテーマ設定し、社会教育施設などでフィールドワークを行っている。フィールドワークの結果をレジュメにまとめ、プレゼンテーションを行うことができている。自身の社会教育計画を立案している。まとめとして、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表している。</p>

回	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1回 /	「現代の社会教育」 現在、どのような社会教育の取り組みがあるのかについて、日本を中心に把握する。	講義	現在の社会教育の概要を把握し、自身の考える社会教育の課題を検討することができる。	(予習)これまで履修した社会教育の授業を振り返る。 (復習)1回目の授業内容を振り返る。	(予習復習合計)60	課題発見力
2回 /	「調査法1」 基本的な調査の考え方および方法について講義する。	講義	基本的な調査の考え方および方法を理解し、自身が使用する調査方法を検討できている。	(復習)調査のさまざまな方法を復習する。自身が採用したい方法を考察する。	60	課題発見力、発信力
3回 /	「調査法2」 フィールドワークの多様な方法について紹介する。	講義	フィールドワークの方法について理解し、自身が採用する方法を検討できている。	(復習)フィールドワークの方法を復習する。	60	課題発見力、発信力
4回 /	「文献講読の方法」 文献講読を通し、レポートや論文の書き方を学ぶ。	講義	文献講読により、レポートや論文の書き方の概要を理解できている。	(復習)文献を実際に読み、レポートや論文の書き方を考える。	60	課題発見力、発信力
5回 /	「プレゼンテーションの方法」 プレゼンテーションのさまざまな形に触れることで、プレゼンテーションの方法を学ぶ。	講義	プレゼンテーションの方法を理解できている。	(予習)これまでの自身のプレゼンテーションを振り返る。 (復習)プレゼンテーションの方法を復習する。	60	課題発見力
6回 /	「文献講読1」 指定された文献を読み、要旨をレジюмеにまとめ、授業内で発表する。その後、全員で討論を行う。	講義および演習	文献内容を的確にレジюмеにまとめ、授業内で発表できる。その後の討論に積極的に参加できる。	(予習)指定された文献を予め読む。 (復習)授業での討論の内容を振り返る。	60	課題発見力、発信力、主体性、傾聴力、規律性
7回 /	「文献講読2」 指定された文献を読み、要旨をレジюмеにまとめ、授業内で発表する。その後、全員で討論を行う。	講義および演習	文献内容を的確にレジюмеにまとめ、授業内で発表できる。その後の討論に積極的に参加できる。	(予習)指定された文献を予め読む。 (復習)授業での討論の内容を振り返る。	60	課題発見力、発信力、主体性、傾聴力、規律性
8回 /	「社会教育フィールドワーク1」 各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力、傾聴力、実行力、創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

回	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9回 /	「社会教育フィールドワーク2」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
10回 /	「社会教育フィールドワーク3」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
11回 /	「社会教育フィールドワーク4」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
12回 /	「社会教育フィールドワーク5」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
13回 /	「社会教育フィールドワーク6」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
14回 /	「社会教育フィールドワーク7」各自が選んだテーマおよび施設で調査した内容をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションを行う。その後、質疑および討論を行う。	講義および演習	自身の調査結果をレジюмеにまとめ、プレゼンテーションできる。質疑・討論に積極的に参加している。	(予習)自身のプレゼンテーションの準備を行う。 (復習)授業での討論を振り返る。	60	発信力 傾聴力 実行力 創造力
15回 /	「まとめ」自身の調査を踏まえながら、現代の社会教育の在り方、課題について考察、討論を行う。	講義および演習	現在の社会教育の課題を把握し、今後の社会教育の在り方について考察、討論ができる。	(予習・復習)授業全体を振り返りつつ、自身の考える社会教育を考察する。	60	課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力